

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社ウィズホスピタル	ウィズホスピタル千葉白井	特定施設（介護付き有料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	パラマウントベッド株式会社 眠りSCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月7日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>主には認知症の利用者や、転倒リスクの高い方に24時間使用しています。 介護職員もしくは、看護職員がパソコンにて画面にて生活状況の変化を確認し早期に対応できるようにしています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>特に夜間帯で職員体制の手薄な時間帯に、パソコンなどで状況確認を行い必要に応じて対応ができる為、職員の労務軽減する事が出来ています。 ご利用者様に対してもより適したタイミングでのお声掛けが可能になり夜間に安眠していただく事ができています。 心拍・呼吸数の管理、状況の把握ができています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体よりWi-Fiを経由して、パソコン画面へ表示されるためタイムラグがある。</li> <li>・小柄な方などは、反応がずれる。</li> <li>・エアマットと同時に使用できない。</li> <li>・ナースコール（PHS）と連動していると有難い。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人生活クラブ	生活クラブ風の村特養ホーム 八街	施設系サービス
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り Scan NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年 1月 27日	2台	
<b>【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 日中・夜間のベッド臥床時の睡眠状況の把握		
<b>【介護ロボットの導入効果(導入による業務改善状況等)】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 モニタリング業務の軽減、睡眠状況の把握ができた。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 なし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	特別養護老人ホーム 松丘園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りSCAN (NN-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月28日	10台	
<p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b></p> <p>使用状況としては、居室でのベッド臥床時に、身体状況の確認を目的に利用しており、睡眠状態や覚醒状態について、また呼吸・脈拍数等の確認が出来るので、一人で離床出来ない認知症の方の見守りについてや、呼吸や脈拍数が微弱になっている看取り介護（終末期介護）の対象の方にも有効に利用できている。使用の頻度としては、対象者の方には常時設置し、継続して連日の使用をしている。</p>		
<p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b></p> <p>使用対象者のベッド臥床時の状態が、離れていてもサービスステーション内のパソコンや iPod 端末により睡眠、覚醒、起床、離床の状態が確認できるので、介護職員の配置人数が少ない夜勤時間帯等に安全に効率よく業務を行うことができる。</p> <p>また、夜勤時間帯の排泄介助を行う際にも、今までは入眠状態でも、定時に起こして排泄誘導介助を行っていたので、嫌がられたり、拒否や抵抗されることがあり、利用者様に負担を掛けてしまっていた。</p> <p>しかし、眠りSCAN導入後は、その方の覚醒状態を確認してから排泄介助の声掛けが出来るので、嫌がられることも少なくなった。職員の精神的負担や時間的な労力も軽減することが出来ている。また、単なるセンサーマットとしてだけではなく、利用者様のベッド臥床時の呼吸・脈拍状況や睡眠状態まで集約しグラフ化されるので、今まで分かりにくかった睡眠の状況や安否確認等の睡眠習慣を分析し、その状況から介護内容を検討することが出来る様になり、確認の難しい看取り介護状態の方にも眠りSCANを活用することで、より細やかな対応に役立てている。</p>		
<p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>今のところ、特に不都合は感じられません。</p>		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	特別養護老人ホーム ユニッ トケア松丘園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN (NN-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月28日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>使用状況としては、居室でのベッド臥床時に、身体状況の確認を目的に利用しており、睡眠状態や覚醒状態について、また呼吸・脈拍数等の確認が出来るので、一人で離床出来ない認知症の方の見守りについてや、呼吸や脈拍数が微弱になっている看取り介護（終末期介護）の対象の方にも有効に利用できている。使用の頻度としては、対象者の方には常時設置し、継続して連日の使用をしている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>使用対象者のベッド臥床時の状態が、離れていてもサービスステーション内のパソコンや iPod 端末により睡眠、覚醒、起床、離床の状態が確認できるので、介護職員の配置人数が少ない夜勤時間帯等に安全に効率よく業務を行うことができる。</p> <p>また、夜勤時間帯の排泄介助を行う際にも、今までは入眠状態でも、定時に起こして排泄誘導介助を行っていたので、嫌がられたり、拒否や抵抗されることがあり、利用者様に負担を掛けてしまっていた。</p> <p>しかし、眠りSCAN導入後は、その方の覚醒状態を確認してから排泄介助の声掛けが出来るので、嫌がられることも少なくなった。職員の精神的負担や時間的な労力も軽減することが出来ている。また、単なるセンサーマットとしてだけではなく、利用者様のベッド臥床時の呼吸・脈拍状況や睡眠状態まで集約しグラフ化されるので、今まで分かりにくかった睡眠の状況や安否確認等の睡眠習慣を分析し、その状況から介護内容を検討することが出来る様になり、確認の難しい看取り介護状態の方にも眠りSCANを活用することで、より細やかな対応に役立っている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>今のところ、特に不都合な点はありません。</p>		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 3 月 2 3 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	九十九里ホーム飯倉駅前特別 養護老人ホーム シオン	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN (NN-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 2 月 2 1 日	6 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>日中及び夜間のベッド上での状態把握に使用している。日中、離床している利用者様は夜間に使用し、日中夜間ともにベッド上で過ごすことが多い利用者様は 24 時間使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>現在、動き出し転倒リスクのある利用者様に使用しているが、巡視の回数の軽減や、夜間、覚醒のタイミングに合わせてトイレの声掛けができるので、本人の眠りを妨げずにケアに入ることができる。呼吸、心拍状態から本人の体調の変化に気付くことができ、早期発見・対応ができる。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>動作と検知に誤差があるため、訪室した際には次の動作に移っている事がある。iPodでも状態確認ができるが、常時画面を映しておく必要があるため、ポケットに入れると設定が変更されてしまう事がある。</p>		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	九十九里ホーム飯倉駅前特別 養護老人ホームユニットケア シオン	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN (NN-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月21日	4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>覚醒や起き上がり検知の機能を利用し、転倒や転落の予防やリスクの軽減に繋がっている。また、新規入所者に対して2週間ほど睡眠状況の把握のために使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>画面に表示される睡眠状態を確認した上で、オムツ交換等を行うなど、利用者様に配慮した個別対応に役立っている。夜間、突発的に目覚めるなどの対応については事前に把握できるため、夜勤者の負担が減っている事を実感している。入居者様から、何回も居室を見に来なくなったため、落ち着いて寝られるようになったとのご意見もいただいた。睡眠状況や心拍・呼吸数などの測定も行えるので、身体の変化にも気づき易くなった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>Wi-Fi を介するためなのか、数秒のタイムラグがあり、動作の早い方には注意が必要である。現在は検知タイミングを“起き上がり”の前の“覚醒”で対応している。また、機器の設置位置や身体的位置により、実際の状態と違う時がある。</p>		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 4 月 7 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人野田みどり会	特別養護老人ホーム鶴寿園 (ユニット型)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援システム	見守り支援システム (眠り SCAN)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 3 月 17 日	9 台	
<p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ユニットケア施設において、入居者 9 人の方の日中の覚醒状況の確認把握。呼吸状況による体調確認。夜間帯での入眠状況の確認把握。ベッドからの移乗、移動等動き出し確認。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>日中の覚醒状況を確認することで入居者の日中活動のメリハリが出来た。終末期のケアにおける体調確認が見える化できる事で職員の心理的不安負担の軽減になった。夜間の入眠状況が確認できることで、居室への訪問時期や頻度を調整できることで入居者の安眠確保、職員の巡回軽減につながった。入居者(特に認知症の症状がある方)のベッドからの動き出しを早期に把握できることで、事故リスクの軽減につながった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>若干の誤作動があるが、おおむね良好に運用できている。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人生活クラブ	生活クラブ風の村介護ステーション流山	老人居宅介護等事業（訪問介護等）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り Scan NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年 1月 28日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入時から 2名に継続利用している。</li> <li>・別紙スマケアの実績表、特記事項（添付）</li> </ul> <p>1) 様（パーキンソン病による常時車いす、服薬後に度々居室内は歩行も可）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用業務：深夜帯にご本人が無意識下に動いてしまう為、転倒や動けなくなることがある。介助のタイミングを見る為導入</li> </ul> <p>2) 様（自立歩行、認知症による強い介護拒否あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用業務：朝の排便のタイミングをみる為導入</li> <li>・現在のケア時間での排便リズムの傾向がみえてきたが、画期的な成果はない。眠りについては良好。夜勤帯での動きはない。</li> <li>・介護拒否がある為、タイミングが微妙。ケア時間、声掛けのタイミングを計る為、今後は、明け方の時間帯の観察を夜勤者に指示する。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>同上 別紙スマケアの実績表、特記事項（添付）</p> <p>1) 様について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤者がPCを見て訪室、介助動作、安否確認を行っていることが伺える。6例</li> <li>・1、2ヶ月観察し、この資料を往診医に提供。配薬コントロールの参考資料としたい。</li> </ul> <p>2) 様について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のケア時間での排便リズムの傾向がみえてきたが、画期的な成果はない。眠りについては良好。夜勤帯での動きはない。</li> <li>・介護拒否がある為、タイミングが微妙。ケア時間、声掛けのタイミングを計る為、今後は、明け方の時間帯の観察を夜勤者に指示する。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は、持ち歩く手元スマホにまだ登録していない為、他訪室の際は、動きが見られていない。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月20日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人六親会	特別養護老人ホームプレーグ本塾	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援システム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 3月 3日	6台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>主にベッドからの転倒・転落のリスクの高い利用者に24時間利用しております。介護スタッフが生活状況の変化を知ることで早期対応ができております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>ベッド上からの転倒・転落リスクの軽減に繋がっており、ご利用者様の生活パターンを知ること、特に夜間帯の声掛けやおむつ交換の適したタイミングが可能になり安眠にもつながっております。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>本体から通知がパソコンに届くまでのタイムラグが若干生じる。</p>		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 3 月 30 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人さつき会	ユニット型特別養護老人ホームつつじ苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	①眠り SCAN (NH-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 3 月 2 4 日	4 台	
<p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>看取り介護対象者や夜間不眠で経過している方や日中傾眠が強い方に対して連日使用し、睡眠状況を確認している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>睡眠状況が可視化データ化され、その方の生活リズムが把握や看取り介護者の心拍や呼吸が分かり、入居者の生活状況に合わせたケアや介護職員の精神的な負担の軽減に繋がっている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>特になし。</p>		